



当時のにぎわいを想起させる色鮮やかな引き札に興味津々の来場者。

仕事を体験、人生の経験

野々市中学校職場体験

中学2年生が将来を見つめるために、地域の事業所93カ所で仕事を体験する職場体験。10月15日(火)・16日(水)に野々市中学校2年生がいつもとは異なる環境で体験学習を行いました。今回、広報野々市を作成する市民協働課では、相川凜さん・前聡道さんが県立大学で職場体験を行う野々市中学校生への取材に挑戦しました。取材後、「話を聞くタイミングが難しかった」と話した2人でしたが、撮影の合間にインタビューを行うなど徐々に業務にも慣れている様子でした。

かつてのにぎわいに思いをはせる

文化財企画展「野々市の引き札展～館家の旧蔵資料より～」

10月7日(火)～11月9日(日)に郷土資料館 NoNo で、「野々市の引き札展」が開催されました。本町四丁目の旧家である館家の蔵で見つかり、市に寄贈された資料の中から現代のチラシの一種である「引き札」を展示。会場には、明治時代～昭和初期に本町の商店が新年のあいさつや宣伝などのために得意先に配った引き札が並び、色鮮やかに印刷された縁起物や店頭風景が目を引きました。来場者からは「当時の様子が想像できてわくわくした」との声が聞かれました。



シャッターチャンスを見逃さない！ 真剣に撮影する2人。



(株)ヤクルト北陸の地域貢献と子育て応援の一環として開催されました。

色とりどりの世界を作ろう

親子製作「フィンガーペイント」

子育て支援センターみってで10月23日(木)にフィンガーペイントが行われ、11組の親子が参加しました。保護者がキャンバスの上にいろいろな色のアクリル絵の具を置いて、ビニール袋に入れます。それを子どもが袋の上から触ったり叩いたり振ったりして完成。絵の具を直接触らないので、手を汚すことなく製作できます。参加者は「初めてのアート作品やね」などと話し、絵の具の形や色の混ざり具合を楽しんでいました。

大人になってどうということだろう？

令和7年度野々市市立志式・記念講演会

11月11日(火)、文化会館フォルテにて市内在住の中学2年生584人を対象に、立志式が行われました。生徒を代表して布水中学校の松崎佳奈さんが「一人一人がさまざまな困難を乗り越え、自立した一人の人間として、力強く歩み続けます」と決意を述べました。式典後は株式会社チャンピオンカレー代表取締役社長の南恵太氏による記念講演を実施。南氏は「大人になるには、なろうという意志を持ち、責任と役割を引き受けなければならない」と話し、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



出席者全員で愛と和の市民憲章を唱和しました。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

愛と和でふれあう生涯学習のつどい

ののいちマナビフェスタ 2025

10月31日(金)～11月2日(日)に、にぎわいの里ののいちカミーノをメイン会場とした「ののいちマナビフェスタ2025」が開催されました。市内の団体や個人が日頃の学びの成果を発表する年に1度のイベントに、約3,200人が来場しました。会場では飲食物や衣料品の販売、各地区公民館サークルなどの制作物の展示やステージ発表など催しが目白押し。またカミーノ内に隠された4問の質問に答えてキーワードを集めるクイズラリーや、同日開催の「IKERU NONOICHI 2025」(28ページ下)を巡るスタンプラリーなど、会場内外を歩いて楽しめるイベントも実施されました。見て、作って、買って、食べて、さまざまな催しを楽しんだ来場者の表情は笑顔で満ちていました。

ステージ発表の様子は
市公式YouTube▶

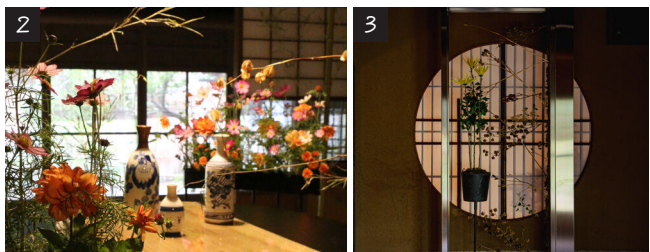
11/1(土)
(1日目)



11/2(日)
(2日目)



①パッチワークサークル「オレンジピール」の織細で色鮮やかな作品の数々に見入る来場者。②剣詩舞サークル富奥の優美な舞。③つまみ細工に挑戦！ 集中力が試されます。④釣りざおで好きなお菓子を釣り上げよう！ ⑤ガールスカウトによるジャンボークソーセージの販売。大きなソーセージが手頃な価格で味わえます！



①②③趣のある町家を jinan の独創的なフラワーアートが彩りました。④一つ一つ表情の異なる美しい珠洲焼作品が並びます。⑤かつて茶屋や旅館屋(はたごや)を営んでいた水毛生家の庭園で過ごす心豊かなひととき。⑥「映画の第2弾も撮っている」と話す森監督。

野々市と珠洲 ツバキでつながる

IKERU NONOICHI 2025

「北国街道・野々市を IKERU (生ける・活ける・いける)」をコンセプトに令和3年から開催している IKERU NONOICHI。今年は10月31日(金)～11月3日(月・祝)の4日間開催されました。

国指定重要文化財 喜多家住宅に、フラワーユニット「jinan」によるフラワーアートが登場しました。趣ある和の空間になじみながらも存在感を放つ作品が展示されました。また珠洲市の市花木が野々市市と同じツバキという縁から、郷土資料館 NoNo で珠洲焼の展示・販売、1の1 NONOICHI で能登の物産品の販売、にぎわいの里ののいちカミーノで映画『先に棲む～こちら高屋～』の上映が行われました。この映画は、森義隆監督が珠洲市高屋町の人々が令和6年能登半島地震後も自然と共に生活する様子を捉えたドキュメンタリー映画です。上映後には、監督と観客が対話を通して能登への理解や思いを深めました。そのほか、このイベントに合わせ特別公開された市指定有形文化財 水毛生家でも、珠洲の特産大納言小豆を使った団子と珠洲の有名店「二三味珈琲」のコーヒーが提供されました。訪れた人は静かな庭園を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしていました。